

## 結果は明白: BPA は安全です !



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2018年2月23日(金) [SAFETY](#)

10年以上に亘って、米国政府の科学者等は、BPAの安全性について根本的な科学的疑問に答え、残っている不確実性を解決するという目的で、[詳細な研究プログラム](#)を実施してきました。なんと長い間実施されてきたプログラムでしょうか！

この研究から今のところヒトへのBPA曝露は非常に低いことが[分かっています](#)。私たちはヒトが曝露後に素早く体内からBPAが排泄されることを知っています。そしてBPAは私たちが曝露されている非常に低いレベルで健康影響はありそうにないと認識しています。

もしそれが十分ではないならば、米国国家毒性プログラム(NTP)が、CLARITYコア研究として知られている完全な研究プログラムの研究結果の総仕上げの部分が発表されていますので、ご覧ください。この研究はこれまでにBPAに対して実施された最大の研究であり、人々が生活を通してBPAに曝露しても、健康影響を引き起こす可能性がほとんどないことを示しています。

報告書と併せて発表された[声明](#)で、米国食品医薬品局(FDA)食品獣医学副局長の Steven Ostroff 博士は次のように述べています。「*初期レビューでは、現在認められたBPA使用法は引き続き消費者にとって安全であると言う我々の決定を支持しました。*」

この研究では、実験動物は、妊娠から初期発達段階まで、そして生涯にわたって継続して、様々な用量のBPAに曝露されました。[研究報告](#)の結論に述べられているように、「*BPAはバックグラウンドと見分けることのできる最小限の影響が認められました。*」

この研究はCLARITYプログラム(**C**onsortium **L**inking **A**cademic and **R**egulatory Insights on **B**PA Toxicity: BPA毒性に関する学術的および規制上の洞察を関連付けるコンソーシアム)の一環として、NTPからの資金提供を受けてFDAの国立毒性研究センターの科学者が行ないまし

た。報告書は草案の形で発行され、次に NTP が組織する専門家パネルによる査読を受ける予定です。最終決定後に、報告書の結果は科学文献に掲載される予定です。

既に利用可能な米国政府による研究の魅力的な主要部分に基づいて、[世界中の政府機関の合意](#)は BPA が現在使用されているように安全であるということです。現在、CLARITY のコア研究の結果では、FDA は実質的に目標を達成しており、その結果は「[BPA は安全ですか?](#)」という質問に対して FDA が「はい。」と明白に回答していることで大いに実証されています。」